

幸福を、平和を、豊かな心を、カンボジアの友と分かち合おう

Angkor Wat

アンコールワット

発行日:2023年(令和5年)12月1日 会報 第132号

特定非営利活動法人(NPO法人)

21世紀のカンボジアを支援する会

《AAC21》ASSOCIATION OF AID FOR CAMBODIA IN 21 CENTURY

【東京本部】〒176-0011 東京都練馬区豊玉上2-25-7-203
TEL:03-3991-2854 FAX:03-3557-1213
E-mail:info@aac21.net

【カンボジア事務所】Royal park condo,Street 608, Toul kok,
Phnompenh,Cambodia
(855) 17-599-707

【ホームページ】 [カンボジア支援](#)

【公式ブログ】 [メコンの風に吹かれて](#)



根岸理事長が札幌市訪問、諸活動を行う

9月20日(水)～23日(土)、根岸理事長が札幌市を訪問、諸々の活動を行った。20日、午後から「石狩翔陽高等学校・料理部」を訪問、生徒を対象にカンボジアのお話とスライドを上映した。同校の校長先生や教師、生徒33人が参加、近隣の校長先生も参加してくれた。

以前「札幌手稲高等学校」におられた先生が同校に赴任され、活動の芽を育みつつある。

21日午前中、札幌市在住の里親会員様と懇親の時を持った。夕方からは、今年の3月にカンボジアに小学校の校舎を寄贈してくれた「札幌ボランティアライオンズクラブ」創立60周年記念式典&祝賀会に出席、現地の小学校から頂いた感謝状を改めて手渡した。式典と祝賀会には約200名の関係者らが出席、二次会・三次会も行われて有意義な時間を共有した。

22日、午後から「札幌手稲高等学校・家庭クラブ」を訪問、生徒を対象にカンボジアのお話とスライドを上映した。同校の家庭クラブは過去十数年間にわたり部活動としてマドレーヌを販売、カンボジアの小学校に十数基の井戸を寄贈してくれた。

最近では井戸代金が高騰したため、来年3月に校舎が完成する予定の小学校にトイレ棟を寄贈することが決まった。



2つの高等学校でお話とスライド上映



60周年記念祝賀会でクラブの皆さんと

小学校の校舎建設資金のためのチャリティーショー開催

10月1日(日)、「世界の恵まれない地域に小学校を作る会」(新潟市秋葉区・石川幸夫代表)とライオンズクラブ国際協会(333-A地区 新潟県)が共催する「チャリティーショーin新潟」(新潟テルサ大ホール・昼夜2回公演)が盛大に開催された。

メインは、テレビにも出演しているマジシャンDAIKIさんによるイリュージョン&3人の若手マジシャンが花を添えてくれた。

チャリティーショーの冒頭、小学校建設資金の目録贈呈式があり、根岸理事長が出席して目録を受け取るとともに、来場者に御礼の挨拶をした。

チャリティーショーの収益金は全て、本会を通じカンボジア小学校の建設資金に充当される。



小学校寄贈の目録を頂きました



出演者や関係者の皆さんと

三度目の北海道訪問は猛暑も収まり快適でした

NPO法人 21世紀のカンボジアを支援する会 理事長 根岸恒次

9月20日～23日、札幌市を訪れました。三度目の北海道訪問でした。

今年の札幌は9月になっても猛暑が続いていましたが、ようやく涼しくなり快適な日々を満喫しました。

一度目の北海道訪問はもう十数年前になりますが、函館市と札幌市で会員懇談会を開催、多数の会員さんが参加してくれました。しかし当時参加してくれた会員さんも既に半数以上が亡くなったり、高齢のため退会されました。悲しいかな時の経過は、私たちに冷たい打ちをします。

それでも「札幌手稲高校家庭クラブ」のように、十数年にわたりカンボジアの小学校へ井戸寄贈を継続している生徒たちもいて、大きな励みになっています。

二度目は昨年の今頃、「札幌ボランティアライオンズクラブ」の例会に招かれて講演をしたり、学校建設の契約を交わ

しました。その学校も今年の3月に無事完成しました。

今回の訪問は「札幌ボランティアライオンズクラブ」創立60周年記念式典&祝賀会出席と、2つの高等学校でお話を目的としたが、無事任務を果たし安堵しています。札幌在住の会員さんとも懇談の時を持つことができ、皆さんと有意義な時間を共有することができました。

さて北海道ですが、食糧自給率は200%を超えています。私たちが暮らす日本人の多くがその恩恵に浴びています。(全国の食糧自給率は38%)

その北海道も78年前、8月15日の終戦が仮に一月延びていたら、恐らくソ連に占領されていたことでしょう。そうなるドイツや朝鮮半島のように分断国家になっていた可能性もあります。悲惨な戦争でしたが幸運に恵まれたのも事実、歴史は不思議なものです。



今年3月に小学校から頂戴した感謝状を改めてお渡ししました

カンボジアの子どもたちをサポートしてください

クメール教育里親会員募集

長かった内戦が終わって平和になったカンボジアですが、国の復興はなかなか進まず、多くの人々は貧困に苦しんでいます。特に農村では、貧しかったり親を亡くしたりして学校へすら行けない子どもや、学校へ行けても途中でやめてしまう子どもが後を断ちません。

本会では、農村の子どもたちが学校へ行けるようにと、教育資金をサポートしてくれる里親さんを募集しております。

思えば78年前、敗戦して焦土となった日本を救ってくれたのは、諸外国からの援助でした。カンボジアも食料援助をしてくださいました。日本の子どもたちもその恩恵を受け学校に行けるようになりました。豊かになった私たちが、今度は困っているアジアの子どもたちを支援する番です。

※お友達グループや職場など、グループ単位でサポートしていただくこともできます。

【教育里親会費】 子ども1人につき 1年間3万円。

(活動のための諸費用含む)

- ・子どもへの直接支援額を高めるよう努力しております。
- ・一括納入、分割納入(毎月、年2回)のどちらでも可。
- ・所定の郵便振替用紙を使いお振込みください。

【支援する期間】

- ・少なくとも子どもが学校を卒業するまでの間、支援して頂けたら幸いです。やむを得ず子どもが中退する場合もありますが、その際は別な子どもの支援をお願い申し上げます。

【子どもとの交流】

- ・子どもからは概ね6ヶ月に1度、近況を報告する手紙(日本語に翻訳)と写真が届きます。
- ・里親から手紙、プレゼントを届けることができます。(子どもから写真とお礼の手紙が届きます)

里親さんありがとう



初めての国際船便



船便で届いた12箱

本会は2000年1月に創立以降、現地カンボジアへの荷物輸送は空港からの持ち出しが中心だった。しかしコロナ禍により理事長始め会員の渡航機会が激減したため、全国の会員から届いた、カンボジアの子どもたちに寄贈する荷物が事務所に滞留していた。

そこで、本会創立後初めて国際船便を活用、7月にダンボール箱(12箱)を郵便局からカンボジアに送った。約2ヵ月後の9月に全ての荷物がカンボジアに到着した。これらの品物は、私たちが渡航して現地の子どもたちに届けることになっている。

教育支援をお願いします!

「クメール教育里親基金」では、教育支援を希望するカンボジアの子どもたちを、会報紙面で紹介いたします。支援して下さる方は、子どもの名前を添えて、事務局までご一報ください。
(先に里親が確定する場合がありますので、ご承知ください)
また、既に里子をお持ちの方も歓迎いたします。顔の見えるマン・ツー・マンの教育支援です。
☎03・3991・2854
FAX 03・3557・1213



ヴオン・ソワン君 (男の子) クランポニェア小学校 (コンボンスプー県ウドン郡) 2年生(9歳)



ニョン・サウビッチちゃん (女の子) クランポニェア小学校 (コンボンスプー県ウドン郡) 1年生(8歳)

- 家族構成＝両親離婚、母親のみ。1人っ子。現在母親と暮らす。
- 好きなこと＝歌を歌うこと。
- 学校まで徒歩で15分

- 家族構成＝両親いるが、仕事の関係で別居している。妹が1人いる。現在祖母、妹と暮らす。
- 好きなこと＝本を読むこと。
- 学校まで徒歩で35分



ワット・ティナイちゃん (女の子) クランポニェア小学校 (コンボンスプー県ウドン郡) 3年生(9歳)

- 家族構成＝両親と妹が1人いる。現在両親、妹と暮らす。
- 好きなこと＝本を読むこと。
- 学校まで徒歩で10分。



ユイー・メイ君 (男の子) クランポニェア小学校 (コンボンスプー県ウドン郡) 3年生(11歳)

- 家族構成＝両親離婚、母親のみ。兄が2人、弟が1人いる。現在母親、兄、弟と暮らす。
- 好きなこと＝サッカーをすること。
- 学校まで徒歩で20分。



ナウ・ニターちゃん (女の子) クランポニェア小学校 (コンボンスプー県ウドン郡) 2年生(7歳)

- 家族構成＝両親と兄が1人いる。現在両親、兄と暮らす。
- 好きなこと＝本を読むこと。
- 学校まで徒歩で15分。

ウオツチカンボジア

米国、カンボジアへの1800万ドルの援助停止を撤回



援助停止を撤回

米国は今年の総選挙が不正で透明性を欠くとの判断で、カンボジアに供与していた1800万ドルの援助停止を決定していたが、これを撤回した。フン・マネット首相がニューヨークで行われた国連総会で、ビクトリア・ヌーランド米国防務副長官代行との会談で明らかにした。ヌーランド氏は、フン・マネット首相就任を祝福し、米国はフン・マネット首相やカンボジアの繁栄を期待していると伝えた。

フン・マネット首相の中国訪問、成果を挙げ終了



中国訪問

フン・マネット首相は、「新時代における中国・カンボジア共同体の構築に関する行動計画」の実施に合意するなど、3日間の中国公式訪問を終了した。フン・マネット首相は上級代表団を率い9月14日～16日、中国を訪問していた。15日に行われた習主席への表敬訪問で、両首脳は新しい時代における中国・カンボジア共同体の構築、将来の中国・カンボジア関係の展望について深い議論を交わした。

国民議会初の女性議長が誕生

クオン・スタリー氏は、カンボジア史上初の女性議長として、国民議会議長に選任された。任期は5年間。70歳の同氏は与党カンボジア人民党常任委員会のメンバーで、過去には第二副議長を務めた経歴を持つ。

初の女性議長



トヨタ車組立工場、2024稼働予定



フンセン前首相と握手

プノンペン経済特区で建設が進められているトヨタ車組立工場は、2024年の稼働を予定している。カンボジア国内にはこれ以外にも、ココン州のヒュンダイ車組立工場やポーサット州のフォード車組立工場など、複数の自動車関連施設が存在している。

過去5年間で3万1891人が薬物を断つ

「社会問題・退役軍人・青少年更生省」は、過去5年間にリハビリ施設で治療を受けた薬物中毒患者4万7904人のうち、3万1891人が薬物を断ち切ったことを発表した。同省によると、薬物中毒者は主に18歳～35歳で、多くが覚醒剤や「ヤーバー」と呼ばれる錠剤型の覚醒剤に依存している。現在の治療施設でリハビリを受け、5851人が治療中。

薬物を断つ



カンボジア政府、最低賃金引き上げを確認

カンボジア政府は、衣料品・履物・旅行用品産業の労働者に対する最低賃金の段階的な引き上げを継続する方針であることを明らかにした。フン・マネット首相が、最近プノンペンで開催された労働者との懇談会で、この方針を強調した。2023年には最低賃金が200ドルに設定され、来年には更なる上昇が期待されている。

最低賃金引き上げ



小国の悲しさ

9月30日(土)、本会事務局のある東京都練馬区内(光が丘公園)で初の「カンボジアフェア」が行われるとのネット情報があり勇んで観に行きたものの、残念ながら出店する業者がいなくて急ぎょ中止になった。

当日はタイとカンボジアの合同フェアという形になっていて、タイフェアのみが小規模に行われていた。タイに関連するレストランや物販店は全国に数多いが、カンボジアのそれはほとんど見かけない。



タイフェアのみ

ネットに掲載された広告が派手なだけに、一層寂しさを感じた。

サルが観光客を攻撃、警戒強化



警戒強化

アンコールワットなどの遺跡群を管理する「アンコール地域遺跡整備機構」は、特にアンコール・ワットとアンコール・トム寺院における一部のサルによる観光客への噛みつきについて発表、警戒強化が必要であると通知した。同様の事件は以前からも報告されており、その一因として、観光客がサルに餌を与える行為が指摘されている。

外国人観光客、7カ月で303万人に到達

カンボジア観光省によると、今年1月～7月の外国人観光客は303万人を超え、昨年同期と比べて300%増加した。新型コロナウイルスの影響で2020年は131万人、2021年は19万人と減少していた。



303万人に到達

里子へのプレゼントは 随時受け付けています

- コロナウイルスの影響で、カンボジアへの渡航回数が少なくなりました。しかし、海外送金は問題なく可能ですので、当方は皆様から送って頂いたプレゼント代金を現地の本会銀行口座に送り、現地スタッフがプレゼントをお届け致します。里子からのお礼状(写真付き)もメールで送ってまいります。
- 事務局に届いた里子プレゼント(品物)につきましては、年2回程度になりますが、空港から持参させて頂きます。暫くお時間を頂きますので、この時期品物を避け、なるべく現金をお送りください。(手紙はメールで、現地に送ります)

現地購入(プレゼント代を振込票にてご送金ください)

・自転車(中古品)	7,500円
・お米(50キロ入り)	4,500円
・通学用かばん	3,000円
・ティシャツ2枚&サンダルセット	2,000円
・本(絵本2冊・中学生以上は英語辞書1冊)	1,000円
・お菓子セット(お菓子の詰め合わせ)	1,000円
・文房具セット(ノート、筆記用具等)	1,000円

※上記の代金は、現地での物品調達や里子へ届けるための車代等の諸経費として、原価に20%を上乗せしております。
※里親様が現地に行き、里子にプレゼントを直接届ける場合は、原価での購入になります。

里子への教育支援金を 隔月に届けています

本会のカンボジア事務所では現地スタッフが、教育里子が通学する小学校(25校)を隔月に訪問、教育里親様より頂戴した年会費の中から6回に分け、米ドルに換金して教育支援金を届けている。中学校、高等学校に通う教育里子も出身校の小学校に集まり、支援金を受け取っている。

10月16日~10月21日の間に8月分と9月分を、2人の現地スタッフ(ドライバー含む)が各学校を回り、教育支援金と里親さんからのプレゼントなどを届けた。



教育支援金を届けた様子

セント等を届けた。教育里子たちは皆元気で通学し勉学に励んでいた。現地で暮らす教育里子を訪問することが可能になった。訪問することが可能になった。オンライン里子訪問を希望される方は事務局に連絡を。

☎03-3991-2854



元気な里子たち

本会では、病気や事故、親の離婚などにより両親や片親をなくしたり、親がいても貧しい家庭環境にあるカンボジアの子どもたちが安心して学ぶことができるよう、2003年に「クメール教育里親基金」を創設、現在247人(9月末日現在)の子どもたちを教育支援している。10月16日~21日、根岸理事長始めカンボジアを訪問した役員、会員が現地スタッフとともに教育里子を訪問、教育支援金や里親から預かったプレゼントを届けた。

クメール教育里親基金活動レポート

投稿 カンボジアのコーヒー

理事 佐々木 英介 (東京都在住・里親会員)



カンボジアコーヒー

私はコーヒーが好きで毎日5杯くらいはストレートで呑んでいます。種類としては主にマンデリンやコロンビア豆を主体にした苦みのあるブレンドコーヒーです。

実はカンボジアはコーヒーの生産地であり、現地の人々にも普及しています。が、そのコーヒーの粉を持ち帰って始めて試した時は驚きました。甘ったるくて匂いにも癖があり、こんなものはコーヒーじゃないと思ったのですが、いや、以前これと似たコーヒーを飲んだことがある、そうかベトナムコーヒーだ!つまりこれは私たちに普段馴染みのあるコーヒーとは違う品種なのです。

世界で生産されているコーヒーは大きく分けてアラビカ種、ロブスタ種、リベリカ種の3種類で、日本には世界各地から様々な銘柄のコーヒーが輸入されているので当然それらの多くが手に入りそうですが、実はほとんどアラビカ種だけに偏っているのです。キリマンジャロ・ブルーマウンテン・モカ・ブラジルなど様々な銘柄のコーヒーがあるものの、それらも分類上はアラビカ種となるのです。

カンボジアコーヒーとはどんなものかは、ベトナムコーヒーを飲んだことのある方ならば想像していただければそうですが、分類上はロブスタ種で、ベトナムに面したラタナキリやモンドルキリ、そしてコンポンチャムでも生産されているようです。

これを始めて飲んだ時には面食らった私ではありますが、飲み続けるうちにすっかり虜になってしまいました。強い苦みがありながらしっとりとしたチョコレートのような仄かな甘み、そして甘いバナナのようなふよやかな香り。カンボジアではこれにたっぴりと練乳や砂糖を入れて冷やして飲むようですが、私としてはドリップしたままのストレートで充分です。

カンボジアでコーヒーの生産が始まったのは19世紀で、フランス人によって持ち込まれたそうです。当初はアラビカ種もあったようですが、国土の多くが低地で山脈もあまり高くないカンボジアでは温暖で低地栽培に向いているロブスタ種が主流となったようです。

カンボジアコーヒーの多くは豆を収穫乾燥させた後にリキュールのようなものを混ぜ、バターを加えて深く焙煎するそうで、それらが独特の味や香りを醸し出しています。カンボジアコーヒーは専門店へ行かなくても大抵の市場で手に入ります。ただし、以前は500g入りで日本円に換算して200円程度で買えましたが、今では300円以下に値切るのは難しくなっています。とは言え日本の通販で買うとその10倍近くしますので、現地で買う方が断然お得です。皆さんもカンボジアへ訪れる機会がありましたらお土産に如何でしょう。

投稿 日本人経営の農園のお話です

中村善信 (プノンペン在住、喫茶店経営)

今回は、カンボジア南部のケップ、カンポット州のお話です。カンボジアに来られたら是非、南部州にも行かれる事をお勧めします。

ケップとカンポット州での胡椒生産と果物の王様ドリアンが有名で、また天然の塩田が広がっています。

市場では、新鮮で安い海産物を食べることが出来ます。欧米人経営のレストランも多く、各国の本場物を食べる事ができます。

9月始めに行き泊まらせてもらった、西村さん経営の農園の話を書きたいと思えます。宿泊者用に戸建てのバンガローもあります。また大きな浴場もあります。

詳しくは私のブログ(なかやんのプノンペン滞在記9月6日付)をご覧ください。



大浴場

投稿 ポルポト時代を日本で生き延びたカンボジア男性の話(3)

副理事長 及川 英博 (岩手県奥州市在住・里親会員)

メイ氏が国連職員として祖国の土を踏んだのは一九九三年。内戦終結の二年後、総選挙が行われた年だった。七十四年にカンボジアを離れてから、十九年の歳月が流れていた。

ようやく探しあてた家族とも再会した。そしてポルポト時代に、家族に何が起きたのかを初めて知った。

教師だった父は連行され、殺害された。兄はプノンペンに動員されたまま行方知れずとなった。母と末弟も消息不明。四男は餓死した。九人家族のうち、五人が亡くなっていた。かろうじて生き残った妹のテイニカさんから聞かされた話に、メイ氏は言葉を失った。

ポルポト派政権はカンボジア国民を新人民と旧人民に分けて支配した。知識層や資本家など、主に都市部の住民は新人民とされ、農民など旧人民が監視するサハコー(集団協同労働組合)へと強制移住させられた。

メイ氏の家族も「新人民」とされ、バラバラに移住させられた。母と幼いテイニカさん、三男、四男、末弟は一緒にいることができたが、サハコーでの強制労働と食糧不足は母に悲壮な決断をさせた。十一歳のテイニカさん、十五歳の三男、十三歳の四男にサハコーを脱出しろと言ったのだ。足手まといになるであろう末弟とテイニカ(自分)はサハコーに残った。子供たちが逃げたことが分かれば、母には過酷な罰が待っている。それが分かっても母は三人を送り出した。「走れ、そして生きろ」という願いを込めて。

子供たちは二日で村人に見つかってしまう。でも親切な村人たちと偶然に出会った知人に命を救われ、テイニカさんたちは親のいない子供たちが暮らす施設へと移された。ただ、そこで四男が亡くなった。食糧も薬もなく、ベッドの上で冷たくなっていく兄を見守るしかなかったと、テイニカさんは語った。(続く)

サハコーでの農作業



投稿 古い、おい、オイ!(2)

今 紀子 (東京都在住 会員)

今年の二月初旬、雪がちらついた日。私は外出した。歩いていたら、頭がボォとして、倒れた。そして、救急車で運ばれた。一瞬、失神したが、救急車がやって来た時は、覚醒していた。隊員さんに、B病院に入院したことがあるという話をしたら、すぐ連絡を取ってくれ受け入れが決まった。救急難民が多いと聞く昨今にしては、不幸中の幸いである。

私が救急車で入院したその日、Aさんのお主人が亡くなられた。七十三歳だった。ご冥福お祈りいたします。

救急棟から一般棟に移ると、顔見知りのナースから「あら、また来たの」なんて、からかわれる。今回は、堂々の救急患者だ。救急搬送の理由が「失神、顔面打撲」になっている。顔に何ヶ所か傷があり倒れた原因を究める為、検査をすると医者が言った。

いつ退院できるかと私は聞く。だって、友達に会う約束になっている。Dさんは、看護師をしている人だった。十一月の退院後も良く呼び出しては、あちこち連れて行ってくれた。おかげで入院ボケにもならず、日常生活に早く戻れたような気がする。

友達は、いいなあ!(彼女も里親会員だ)

だから、彼女の貴重な休みを棒にふるわけにはいかない。

医者先生が言った。「その人と一緒に来られる?」

「はい、来ます。」彼女に頼んで、先生の話と一緒に聞いてもらった。

先生は、検査の結果を丁寧に説明し、ペースメーカーを入れる事をすすめた。

私の心臓は、速い時はメチャクチャ速く、遅い時はメチャクチャ遅く、三秒位止まったりするそう。(続く)

本会の会員状況をお知らせいたします
(2023年9月末日現在)

●教育里親会員	186名
●個人会員	66名
●団体会員	10団体
●寄付協力者(随時)	59名
合計	321名

書き損じハガキ・未使用切手
・商品券等をお送りくださいませ

本会では、書き損じハガキ・未使用の切手やビール券やデパートの商品券を集め、活動資金にしております。皆様の家に眠っているものがございましたら、ぜひ、ご協力くださいますよう、よろしくお願い致します。普通郵便で事務局へお送りください。



事務局便り

会務ではありませんが、この程根岸理事長が「語り継ぎたい昭和の歴史・第3集」を自費出版しました。昨年の第1集、昨年の第2集に続き3年連続の出版です。お読みになりたい方は、本会会員に限り送料(200円分の切手のみで郵送いたします。申し込み先：電話080-4144-2662。メールはnegishi@mbr.nifty.com。次号及び次々号の会報では、カンボジア訪問の活動を詳細にレポートいたします。お楽しみにお待ちください。

活動に参加しませんか

正会員として

- 教育里親会員(年額3万円)
子どもたちへ直接払う年額
1万2千6百円(42%)
会の運営に回す年額
1万7千4百円(58%)
- 個人会員(年額5千円)
- 団体会員(年額1万円)

寄付金

当会の活動に賛同いただける方からの寄付金も受付しております。
* * * * *
会費・寄付金の送付は、銀行振込、郵便振替、現金書留で。

- 【口座名】
21世紀のカンボジアを支援する会
- 【ゆうちょ銀行】
019支店 当座01600916
- 【りそな銀行】
練馬支店 普通4098235
- ゆうちょ銀行の自動引き落としをご希望の方は事務局へご連絡ください。
- 会員の皆様には、隔月発行する本会の会報「アンコールワット」を発行の都度郵送します。

春さんのカンボジアレポート

～ポル・ポト派最高幹部の最後の生き残り キュー・サムファン～

ポル・ポト派の最後の生き残りの元クメール・ルージュ幹部会議長キュー・サムファンは、国際法廷・カンボジア特別法廷で、2022年9月22日に「戦争犯罪」および「人道に対する罪」で終身刑となり、カンダラ州刑務所に収監されています。

彼はポル・ポト政権下での残虐行為の存在を認めたが、自身の犯罪行為の責任を認めたものではないと、責任を否定しています。

1931年生まれで92歳。フランスで教育を受けた急進派です。2004年の著書『Cambodias Recent History and the Reasons Behind the Decisions I Made(カンボジア現代史の裏で下したわたしの決断)』では、自身を「知識人的愛国者」と呼び、ポル・ポト政権下で行われた惨劇については何も知らなかったと弁明し、大量虐殺への関与を一貫して否定しています。

キュー・サムファンは刑務所での生涯を終える前に、自身の人生の物語を書き終えたいと、収監当初からコンピュータの使用許可を申請していますが、内務省からの回答はありません。

2006年開廷のカンボジア特別法廷で起訴されたのは、生存していた元・最高幹部5名です。元政治犯収容所長カン・ケ・イウ被告、ポル・ポト政権のNo.2だったヌオン・チア元人民代表議会議長、No.3のイエン・サリ元副首相兼外相、イエン・チリト元社会問題相(イエン・サリの妻)、No.5キュー・サムファン元幹部会議長です。

最高指導者だったポル・ポト元首相は98年に死亡し、キュー・サムファン以外の4名は公判中に死亡しています。



キュー・サムファン

写真出典：Khmer Times 理事・里親会員 鈴木春男(カンボジア・シェムリアップ在住)

オンライン情報
交換会を毎月開催



オンライン情報交換会

本会では、カンボジア在住の日本人や現地スタッフの協力のもと、現地情報をオンラインで紹介する「カンボジア情報交換会」を、原則毎月第1又は第2土曜日の10時～11時半に開催しています。

9月は9日に開催しました。シェムリアップ在住の鈴木春男理事が、カンボジア国民議会選挙の様子をパワーポイントにまとめて報告してくれました。10月は7日に開催し、根岸理事長が札幌での活動報告などを写真で報告しました。11月は現地訪問のためお休みし、12月は2日(土)に開催する予定です。

入室・退室は自由ですので、お気軽に都合の良い時間帯にご参加ください。(参加希望者にはZoomのIDとパスコードを事務局より事前に送ります。また、Zoomに不慣れの方には事務局より操作を指導いたします)

投稿

カンボジア独立70年に思うこと(3)

理事長 根岸 恒次

ここで注目したいことは、残留日本兵の存在だ。ある調査によれば、戦争終結後復員せずにアジア諸国(ソ連、中国、モンゴルを含む)に残留した日本兵は約1万人、インドシナ3国には700人前後が残ったとされる。

そもそも残留日本兵とは、上の命令に背いて個人の意志により復員しなかったため、日本国内では「逃亡兵」とされ、恩給支給もなかったと聞いている。

しかし、欧米列強からのアジアの解放を謳った「大東亜共栄圏」が、内実は日本が資源を自給するためであったことが知られており、過酷な軍政下に置かれた東南アジアの国々では日本軍が劣勢になると反旗を翻し、多くの民衆が祖国の独立のため立ち上がった経緯を見ると日本人として恥ずかしい限りだが、真にアジアの解放を願って現地人とともに戦った残留日本兵が一握りであっても存在したことを、日本人として誇りに思う次第である。

カンボジアの独立後に話を戻そう。

独立達成後の1954年、シハヌーク国王は只熊氏らを伴って来日、戦後の対日賠償を放棄すると公表した。併せて、食糧にさえ事欠いていた日本にカンボジア米を贈ってくれた。1957年には当時の岸首相がカンボジアを訪問しお礼を伝えている。これらも、只熊大尉ら残留日本兵がカンボジアの独立に協力してくれたことが一因になっている。

1955年、カンボジアは前年に締結された「ジュネーブ協定」に基づき、総選挙を実施した。

ところがシハヌーク国王は突然国王を父親に譲り、サンクム(人民社会主義共同体)という政党を結成して選挙に臨み、全議席を獲得して首相に就任した。

なぜこのような強硬手段に打って出たのかといえば、共に戦ってきた政党(民主党)が次第に左傾化し、共産主義がはびこっていたようだ。因みに、1951年にはカンボジア共産党(のちのクメール・ルージュ)が創設され、民主党との連携を呼びかけていた。

議会制民主主義を否定したシハヌーク首相は1957年に民主党を解党させ、一党独裁を強化する。当然ながらカンボジア共産党に対しても弾圧したため、カンボジア共産党は地下活動に入ってしまった。

一方外交面では、独立後一貫してアメリカの支援を受けていたにもかかわらず、中国共産党との関係を強化していく。1958年に中国との国交を回復すると、1960年には「友好不可侵条約」を締結、中国から軍事援助を受けるようになった。(つづく)

教育里親会員 入会申込書

年 月 日

氏名	ふりがな	生年月日	年	月	日
住所	(TEL)				
備考	1. サポートして下さる子どもの人数 [] 人				
	2. サポートして下さる子どもの性別 ① 男の子 ② 女の子 ③ どちらでも				
	3. その他 [具体的に]				

*入会して下さる方は所定の事項をご記入のうえ、本会事務局までお送りください。

懐かしき1枚

2006年12月15日(17年前)に行われた本会主催のカンボジア訪問旅行の一コマ。角田由美子様(東京都在住の里親会員)が寄贈した小学校(プレイヴェン県)を訪問、当時はメコン川に橋がなく、何台かのボートに分乗して小学校に向った。今は日本が無償援助した「つばさ橋」が完成したため、ボートは廃止になった。

写真提供 遠藤啓様



元現地スタッフのボック・ナヴィーさん